

横浜エフエム放送株式会社  
番組審議会報告書

開催年月日	令和4年6月16日 木曜日 15時00分～15時50分
出席者	番組審議委員：宝田博士委員長、岡崎三奈副委員長、品田英雄委員、横尾典克委員、長谷川篤司委員 FMヨコハマ：兒玉智彦代表取締役社長、久富一雄常務取締役編成部長、神戸竜太編成部マネージャー、小林信子編成部マネージャー
議題	開高健 輝ける孤独(第一夜) (2022年2月13日(日)20:00～21:00)
議事の内容	前回(令和4年5月19日開催)の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの放送がなかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを報告しました。そして、議題の番組について、放送同録CDを聴いた後、各委員から感想、意見等を聞きました。
審議の内容	まず、議題の「開高健 輝ける孤独(第一夜)」について、概要説明に入りました。
タイトル	開高健 輝ける孤独(第一夜)
放送時間	2022年2月13日(日)20:00～21:00
放送形態	録音番組
出演	三浦英之、秀島史香 ゲスト：永山義高
企画内容	開高健という作家を知っていますか？ 戦後から昭和後期にかけて様々なジャンルの小説やノンフィクションを発表し、当時の若者の生き方やカルチャーに大きな影響を与えた人気作家です。その作風は、まるで「怪盗ルパン」です。 小説のなかで、日本の終戦直後の混沌とした社会を描いたかと思えば、自らベトナム戦争の激戦地に乗り込んで行って、200人中17人しか生き残れなかった作戦に参加。見事、生還すると、その従軍体験をルポルタージュにして発表したりします。当時はまだ海外旅行が一般的ではなかった時代、開高は南米やモンゴルといった世界各地の秘境に訪ねていき、趣味の釣りに没頭したり、日本人がまだ食べたことのないような珍しい物を食べまくったり、何より、女性を深く愛したり、愛されたりするのです。この番組ではそんな、ワイルドで、聡明で、グルメで、そして誰よりも大きな孤独を抱えていた開高健の世界をゲストの皆さんと一緒に旅していきます。初回のゲストは開高健記念会、理事長の永山義高さん。「ずばり東京」から「ベトナム戦記」までのお話を伺いました。



収録風景

※以上の概要説明に次いで、2月13日(日)放送のダイジェスト版を聴いて審議に入りました。  
各委員より、次の感想、意見等をもらいました。

<各委員講評>

◎とても興味深く、面白い番組であった。ただ、ながら聴きでは難しい番組であったと思う。

◎淡々と進んでいく番組進行は、一般の方の耳にどう響いたかが気になる。映像がない分、耳だけにどう残していくか、言葉選びが大切であったように思う。

◎第一夜については、伝えたいテーマは、言葉にしないまでも、反戦であったように思う。

◎手間をかけた精密な取材をしていることが伺え、とてもこだわって作り上げた作品であると思った。  
地域性のこだわりも感じられた。またこのタイミングでの放送もすごいと思った。  
カリスマ性のある人気者だった開高健を取り上げたのはとても良く、ひとつひとつの話が面白く、  
2回目、3回目を聴きたくなる内容であった。

◎番組内の登場人物の多さが気になり、放送上の時系列の整理が少しできていないように思った。  
そこが少しもったいない気がする。

◎作りこんでいるのは分かるが、地域性の良さなどをもっと分かりやすく盛り込んで、若い子にも聞いてもらえるようであれば、より良かったと思う。

◎テーマも良く、チャレンジしている感じもあり、声も喋りも音楽も良く、玄人受けする番組である  
と思った。

◎音楽と語り心地が心地よい感じであった。

- ◎若いリスナーにとっては、内容的に、難しい気がする。もう少し、開高健さんの基本的な部分を入れて説明した方が良かったと思う。
- ◎開高健を知らない人、世代でない人には聴きづらかったかもしれない。もう少し、深い時間の方が良かったかもしれない。
- ◎地域性は、あまり感じられなかった。なぜ、開高健だったのかが、伝わったのかは、少し疑問である。永山さんの発言は、この世界情勢を考えるとすごいと思った。
- ◎リアルタイムで聴いた際に、どこで何の話をしているのかが、少しわかりづらかったと思う。アーカイブして、この番組を聴けるようになれば、より若い人も惹きつけられると思う。
- ◎玄人しかわからない番組を作っても良いのではとも思った。間口をあえて広げなくても良いのではと思う。

<局より>

- ◎タイミングという部分でいうと、実は企画自体は、2020年に考えていたものである。というのも、2019年が没後30年。2020年が生誕90年だったので、そう考えていた。しかし、コロナの関係で、2年遅れてしまったので今回のタイミングでの放送となった。
- ◎ウクライナの緊張感が高まっている時期ではあったが、まだ対戦はしていないそんな状況下での放送となった。第2夜では、コロナについて、第3夜では、東日本大震災にも触れて、今とつなげるというチャレンジもした番組になったと思う。
- ◎若い人に聴いてもらえるようにアーカイブや、長時間の収録でたくさん放送できていない素材もあるので、ポッドキャストなどを使うべきであったかもしれないのが反省点である。

以上、15時50分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に： なし

対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。

を公表した場合におけるその公表

の内容、方法、及びその年月日

①令和4年7月18日、04:55から3分間、当社で  
放送予定。

②書面にて自社内に備置き

③令和4年7月18日、当社ホームページに掲載予定。

(<https://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項：

なし

以上